

外出せずに医療を受けられるオンライン診療と薬配送サービス『SOKUYAKU』の利用者が前年比250%に拡大 気圧変化による体調不良や豪雨リスクに 外出しない“スマホ完結型医療”

オンライン医療サービスを展開するジェイフロンティア株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長執行役員:中村篤弘)は、オンライン診療・服薬指導・処方薬配送を一体で提供するサービス「SOKUYAKU(ソクヤク)」を運営しています。

同サービスは、外出をせずにいつでもどこでも医療を受けられる仕組みとして利用が急増しており、利用者数は前年同期比 2.5 倍に増加しています。

2026 年は、気象各社より「平年並み～多い雨量」が予測されており、全国的にゲリラ豪雨や大雨災害への警戒が高まっています。加えて、気圧や湿度変化による“梅雨ダル”と呼ばれる体調不良も増加傾向にあり、外出せずに診察・服薬指導・薬の受け取りまで完結できるオンライン医療サービスの予約数が増加傾向にあります。

ゲリラ豪雨40年で1.5倍

「病院へ行けない」が新たな社会課題に

オンライン診療利用者が前年比**250%**に拡大

自宅で診察から薬の受け取りまで **完結**

オンライン医療プラットフォーム
SOKUYAKU

- 提携医療機関 4,100施設以上
- 対応薬局・店舗 20,000店舗以上
- 人口カバー率 約91%

豪雨・災害時も、体調不良の時も。いつでも、どこでも、医療をあなたのそばに。

【2026年の梅雨は全国的に“大雨傾向”】

ウェザーニューズの2026年梅雨見解によると、九州南部～東北北部では総雨量が「平年並みか多い」見込みで、6月上旬から7月前半にかけて強雨・ゲリラ豪雨への警戒が必要とされています。

また、気象庁によると、日本国内における 1 時間降水量 50mm 以上の短時間強雨発生回数は、約 40 年前と比較して約 1.5 倍に増加しており、“突発的な豪雨”は年々増加傾向にあります。

出典:気象庁「大雨や短時間強雨の発生頻度」<https://www.jma.go.jp/>

さらに、総務省「通信利用動向調査(2025 年推定)」では、スマートフォン保有率は 92%を超え、オンラインサービス利用環境が全国的に整備。医療分野においても、厚生労働省によるオンライン診療恒久化以降、自宅で医療を受ける生活者が拡大しています。

加えて、“梅雨ダル”と呼ばれる季節性不調についても注目が高まっています。低気圧や高湿度による自律神経の乱れ、日照時間減少によるセロトニン低下などが原因とされ、頭痛・倦怠感・睡眠不調を訴える人が増える時期とされています。

【オンライン診療利用者数が前年比 2.5 倍に増加】

当社が提供する「SOKUYAKU」では、オンライン診療利用者数が前年同期比 2.5 倍に増加しました。特に、以下の層で利用が拡大しています。

- ・高齢者世帯
- ・共働き家庭
- ・地方在住者
- ・外出困難者

現在、SOKUYAKU は、

- ・提携医療機関数:4,100 施設以上
- ・対応薬局・ドラッグストア数:20,000 店舗以上
- ・人口カバー率:約 91%

となっており、都市部だけでなく地方・過疎地域においても利用可能です。

利用者からは、

「大雨の日でも診察を受けられて安心だった」

「子どもを連れて外出せずに済んだ」

「夜間でも薬を受け取れて助かった」

「災害時にも医療につながる安心感がある」

といった声が寄せられています。

また、平時だけでなく災害・非常時においても医療提供を継続できる取り組みが評価され、「SOKUYAKU」を活用した医療レジリエンス基盤は、2026 年 4 月開催の「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2026」にて最優秀賞を受賞しました。

【「SOKUYAKU」とは】

「SOKUYAKU」は、スマートフォンやタブレットを活用し、自宅や職場にしながら診察・服薬指導・薬の受け取りまで完結できるオンライン医療サービスです。

医師によるオンライン診療後、薬剤師によるオンライン服薬指導を実施し、その後は処方薬を自宅配送、または近隣薬局で受け取ることが可能です。最短当日の薬受け取りにも対応しています。また、医療機関向けには予約管理・問診票・オンライン決済などの機能も提供しており、追加設備投資を抑えながら導入できる点も特徴です。

さらに、災害時や感染症流行時には、“代替医療回線”として機能するフェーズフリー型医療インフラとしての活用も進んでいます。平時のオンライン診療基盤をそのまま非常時へ転用できる点が特徴で、医療アクセス維持や処方薬配送継続に寄与しています。

【今後の展開】

近年は、気候変動による豪雨災害の増加、高齢化による通院困難者の増加、医療従事者不足などを背景に、“場所に依存しない医療”へのニーズが拡大しています。民間調査では、国内オンライン診療市場は 2030 年までに 2025 年比で約 2 倍規模へ成長するとの予測もあります。

こうした中、自治体や医療機関では「災害時にも止まらない医療体制」の構築が重要テーマとなっており、オンライン診療と医薬品配送を組み合わせた“分散型医療インフラ”への注目が高まっています。

当社は今後、自治体・医療機関との連携強化を進めるとともに、地域ごとの医療課題に応じたオンライン医療体制の整備を推進。平時から非常時まで切れ目なく機能する医療アクセス環境の構築を目指します。

【SOKUYAKU ヘルスケア経済圏の構築】

ジェイフロンティア株式会社は、「SOKUYAKU」の会員データと D2C 事業の医薬品などを販売している会員データ、医療情報システムにおける電子処方箋、電子カルテ、お薬手帳とのデータ連携によって一人一人のステータスに合った適切な商品提供・診療を可能とし、全てのヘルスケアサイクルのアクションが「SOKUYAKU」で完結するような「SOKUYAKU ヘルスケア経済圏」の構築を目指しています。



【会社概要】

会社名:ジェイフロンティア株式会社(東証グロース:2934)

所在地:東京都渋谷区桜丘町 9-8 KN 渋谷 3 4 階

代表者:代表取締役社長執行役員 中村 篤弘

設立:2008年6月

URL:<https://jfrontier.jp/>



【取材依頼・問い合わせ先】

本件に関するお問い合わせ先

ジェイフロンティア広報事務局

Mail:pr-info@jfrontier.jp